

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析

逗子市立久木中学校

調査結果の概要及び教科の課題等（○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等）。

全国・県と比較し、主に±5%の差が見られる内容について分析した。

【 国語 】

《我が国の言語文化に関する事項》

○古典作品について、どの学年でも、今とは異なる読み方や独特のリズム、響きを味わうために、暗唱や音読をくり返し行っており、歴史的仮名遣いの読みなど身体で覚えさせている。

《書くこと》

○文章を書くときに、どうしたら自分の考えが伝わるかどうか確認させている。その際、叙述や事実を根拠とするよう指導している。

○書いた文章は、①自分で読む ②人に読んでもらう ような活動を入れ、文章の修正をアドバイスし合わせている。その時、伝わるかどうか確認するポイントを示している。（例：根拠があるのか。）

《生徒質問紙 国語に関する質問》

○日頃から文章を書くときに、自分の考えが伝わるよう根拠を明確にして書いている、と答えた人が70%と多かった。これが、「書くこと」の育成に繋がっていると考えられる。

●「国語の授業が分かるか」の設問で、分からないと答えた人が20%ほどいた。今後は授業アンケートなどを実施し、何が分からないのかを分析し授業改善につなげていく。

【 数学 】

《データの活用》…県から+6

○累積度数や四分位範囲を求める問題については正答率が高くなった。短答式ということもあり、問題から予想して、計算などにより正答を導き出せたと分析できる。そのため、例えば7（2）の説明する問題に対しては、平均よりも低いものになった。

●今後は、自分の知識を他者に伝えられるようにしていけると更なる定着が促せると考えられる。

《生徒質問紙 数学に関する質問》

●特に、「数学の勉強は大切だと思いますか」や「将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の項目について課題が見られる。生活に即した課題や実際に活用されている事例等を扱うことで、数学の学習を身近に感じさせたい。

●「数学の授業の内容はよく分かりますか」の項目について、一層の研究が必要である。「個別最適な学び」などを取り入れつつ、分かりやすい授業を目指していきたい。

【 英語 】

《聞くこと》

○ICT機器を活用し、「聞くこと」の育成について積極的に取り組み、反復学習の機会を多く設定した。また、グループワークやペアワークを通して、相手の伝えたいことが理解できているか明確にし、自分の課題を明らかにした。

《生徒質問紙 英語に関する質問》

- 「英語の勉強は大切だと思いますか」や「将来、英語を積極的に使いますか」等の項目について、「当てはまる」と答えた生徒が多くいた。英語を身近に感じ、活用する場面を多く設定した結果だと思われる。
- 「英語の内容はよく分かりますか」については課題が見られる。今後、教科会等を通して指導改善を行い、授業力の向上を目指したい。

◎生徒質問紙の結果 特徴的なことや課題と考えられること等

○全体的に、「自分には、良いところがある」などの自己肯定感が高い。また、学習をしている意識や、外国やその人々とのつながりを求める生徒が多い。今後も、学習面では授業時を中心に分からないところをできる限り解消しその意識を高めていきたい。

●総合的な学習の時間などの活動では、経過を自分の中でまとめることがうまくできなかつたようである。また学習面では、塾に行っている割合が少なく、不安に思っている生徒が多いことも分かった。その他困りごとを教員や大人に相談できないことも分かった。

学習がうまく結果に結びつかないことも多いようである。引き続き、学校でも家庭でも、自分の進路をイメージしながら計画的に学習させたい。そのためには、教員も継続して見守り、支援していきたい。

◎調査の結果を受けて、今後の指導改善に向けて学校として取り組むこと

- ・学習面については、一定の成果が見られた半面、指導力の向上や疑問点の解消など、いくつかの課題が分かった。現在、継続して「学びのプラン」を研究として扱っているが、今後も生徒とねらいを共有し、目標を明確にして学習に取り組ませたい。
- ・普段の生活では、生徒との距離感に注意しつつも、すぐに相談できるような職員体勢を構築していきたい。家庭とも連携しつつ、生徒によりそった指導を心がけていく。
- ・総合的な学習の時間を要として、生徒の資質・能力を計画的に育成するなど、カリキュラム・マネジメントを進めていく必要がある。PDCAサイクルを意識して指導改善を心がけていく。